

F-32 地方新聞家庭欄における家庭経営の取扱い。(オ3報)

熊本大教育 奥村美代子

目的 熊本地方において、家庭経営がどのように変遷してきたかを推測する一手役として、地元紙の家庭欄記事の取扱量の変動を分析してきてみる。すでに1967年にオ1報としてその戦後について、1968年にオ2報としてその大正期から昭和期までを報告した。今回はその明治期について検討する。

方法 資料：熊本日々新聞の前身の九州日々新聞。全紙面調査。現存する最古の明治9年から調査したが、主として始めて家庭欄が出現した明治33年以降を分析した。家庭欄記事と記事項目毎に題名・要旨・行数を記録した。これを家庭管理・家庭経済・家族関係・児童関係・健康関係・食物関係・被服関係・住居関係の8大項目に分類した。右大項目を右々3～6の中項目に分類した。年間の総紙面行数と該当項目総行数との比を求めることにより、取扱量の変遷とみる。

結果 ①記事量の多い項目は健康関係・児童関係・食物関係。ついで家族関係。健康関係・児童関係は漸減し、食物関係は漸増する。

②記事量の少ない項目は被服関係・住居関係で比較的変動しな。

③記事量の最も少ない項目は家庭経済関係で、ついで家庭管理関係で、年度により変動する。